

第5次釧路町総合計画（町民意見反映）

町民インタビュー

結果報告

第2回 → 釧路町野菜生産出荷協議会（反省会）



開催データ

- 開催日時：平成22年12月14日（火）15：45～16：35（50分）
- 開催場所：JAしべちゃ釧路町支所 2階会議室
- 出席者：釧路町野菜生産出荷協議会 会員10名、JAしべちゃ職員 3名、
釧路農業改良普及センター職員 3名
- 聞き手：佐藤広高 釧路町長

開催目的

第5次総合計画の策定にあたり、より多くの町民の皆様からご意見をいただく「町民参加」の一環として開催するものです。

その第2回として釧路町野菜出荷協議会の皆さんのから、ご意見をいただき策定に反映させるべく開催しました。

今年の農作物について



- ☺ キャベツ、白菜の収穫が落ちてしまいましたが、道南の大産地の収穫も同様に減っていたために、釧路町の収穫量も減りましたが、ある程度の単価で推移したようです。(会員A)
- ☺ 釧路町は単価が良かったので、金額的にはこの地域は良かったようです。(会員B)

漁業の面では、今年は暑かったために、さんまや秋鮭に大きな打撃がございました。今年の暑さで、冷たい水が岸に来ないことにより、沖に行かなければさんまや秋鮭が獲れない状況だったのでございます。釧路のさんまは、これまでは油がのって大きかったものですが、今年は、ぱさぱさしてお腹もべったんこでした。秋鮭も、沖にいつてしまっているため、あまり獲れなかったと聞いています。

今年の農作物の状況を担当係から聞いたところ、量的には、春先の長雨と夏の暑さであり、あまり良くなかったようですが、秋口から葉物を中心に良くなってきたと聞いていたところ。トータルでは良かったとお聞きしてホッといたしました。(町長)

ブランド野菜について

【ズッキーニ】

ズッキーニは4軒の農家がつくっています。発送が主流ですが、最近では、関東や関西市場での評価も上がってきています。1本あたり100円位で販売され、卸値が70円か80円になってくれるともっといいと思っています。今年の気候では、2回位収穫しなければ規格外になってしまうような暑さでした。

ズッキーニは、毎日、休み無く手をかけなければならないので、毎日つくるとなると手間がかかるものです。(農家C)

【桃太郎トマト】

釧路でも、釧路町のトマトはYes Clean!北海道認可の作付け方式でつくっていることもあり評判が良いです。発送は何年前かに一時的に、大阪にトマトを送っていたことがあります。大阪の東急百貨店に送っていた時期がありましたが、私は完熟にこだわっていたので、輸送に難(傷や腐り等)がでてしまったことから現在はやめています。(農家D)

【白かぶ】

白かぶは、釧路市場では、全体量で昨年の1,600万円から今年は2,000万円になり、高い評価を受けています。伸び率において、白かぶは釧路町を代表する品種になってきています。



かぶは、朝しか採れないものであり、昼になると萎れてしまいます。ほうれん草は水をかけると再生しますが、かぶは、なかなか再生しないため朝仕事で採らなければならないものです。朝採りの白かぶを食べると、梨のように甘い感じがします。(農家A)

私の妻の母が、別保にいらのですが畑でズッキーニを作っています。ズッキーニはそんなに手間がかからないようですね。私は、てんぷらでよく食べますがレストランではサラダに使用されているようです。

釧路公立大の小磯学長は、大阪出身なんですけど、大阪では釧路町のトマトが非常に評判が良いと聞いているそうです。現在は発送していないのですね。

白かぶについては、農協の方からも主流になりつつあると聞いております。食べ方については、漬物が一番に浮かびますが、今後は、食べ方を研究しなければならないと思っています。

今後の展開ですが、私は、山のものとの海のをコラボして、新しいものをつくりだしていくことができれば良いと思っています。浜の人も、同じように考えているので、そういう機会があれば農家の皆さんも協力してほしいと思います。浜の方では、目の前のものを獲ればやっていくことができますが、次男・三男が漁師をしたい場合は、パイ(総量)が決まっているので、できなくなってしまいます。私は、こういった昔からのやり方と変わらない方法では良くないと思っています

最近ハネものなど、これまで値段がつかなかったものでも、少しでも売っていきたいという考えが、浜の奥さん達を中心に一生懸命考えられています。私は、「獲る人」と「つくる人」という仕分けができるといいと思っています。他の漁協は、魚一本ですが、昆布森の漁協は昆布もあるので、他の漁協からうらやましがられていると聞いています。昆布森に、釧路町に、若い人達が根付いてもらうために獲るだけでなく、つくって売っていく仕組みが必要だと考えています。(町長)

農薬の使用について

農薬に関しては、今年は多く使用することになりました。暑さのため、モンシロチョウが異常発生し、青虫がついてしまうことから農薬の使用量が増えました。虫について、今年は、異常に増えたような気がします。本日も、農薬について勉強会をしていたところです。



非常に熱心に農薬のお勉強をされていた様子を、伺っておりました。

農薬の散布量についてきちんと記録することに取り組まれていると聞き、消費者としてはうれしいことですが、野菜をつくっている皆様はご苦労されていることがわかったところでございます。

現在、TPPの問題で、外国から安い食べ物が輸入されてくる懸念がありますが、国内では、このように安全に管理されている食べ物を食べることができ、きちんと育て、安全な食べ物を食べることができるということは、非常に安心なことですので、外国からの食べ物が安く輸入されるとしても、国内・とりわけ地元の食べ物は安心安全であることをきちんと理解し、心構えをしていく必要があると感じています。(町長)

後継者問題について



後継者の部分では、私も50歳からサラリーマンから転身したのでわかるのですが、釧路町の現状では厳しいと思います。

町で、農家の担い手を支援することも必要だと思います。農家の跡を継いでも食べていけないのか、難しい部分もあると思います。

自分の息子に、農家を継ぐことを言っても、最近の子どもはきれい好きが多いので、「虫が嫌いだから」「汚いから」「朝も早い」といった理由をあげて、農家になりたがらないよう

です。そういった理由を補ってあまりある魅力が農業に必要ではないかと思っています。(会員E)

農家の皆さんも、高齢化の問題があり、後継者の問題については浜と同じではないか、と思います。

高齢化は農家だけでなく釧路町全体の問題ですが、農家もこれまでより小さくて、軽くて、金になるものを考えていかなければならないと思います。

後継者が、どんどん現れればいいと思いますが、皆さんが元気なうちはいいのですが、そういった工夫をしなければ釧路町の農家は衰退していくのではないかと危惧しています。

農家はきついと思いますが、違う部分での発信が必要ではないかと思っています。人間、究極は「食」に行き着くと思います。行政もそうですが、皆さんももっと発信してもいいと思います。

浜の方では、これだけ漁に出ればかりいると、誰も漁業を継ぎたいと思わなくなってしまいます。「稼げればいい」と漁に出ても、「何のために稼ぐのか」「なんのためにやっているのか」ということを、特に若い人はわからなくなってしまうのではないかと思います。

農家だから、漁家だからこういう生活なんだ、という考えではいけないと思います。生活レベルは農家でも漁家でも街の人も変わらないと、私は思っています。

もっと合理的に若い人に魅力のある形での農業を行うことができれば、釧路町ではこれだけの農作物を作っているということが広まることになるのではないかと思います。

多くの人に釧路町の農業を知ってもらうことにより、跡継ぎ、釧路町で農業をやりたいという人も外から来るのではないかと思います。(町長)

町民インタビュー むすび

今日は、一方的に話してしまいすいませんでした。

農業に取り組まれている皆さん一人ひとりに「想い」があると思いますので、町長室のドアはいつでも開けておりますので、いつでも情報なりお考えを伺いたいと思います。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。(町長)